

元文二年己卯見

平人改十回 道徳記卷之七

上院座七之系
いせくすま
ちくさく八
あゆみ之符
指し之出
近き思ふ
油金六之系
山金六之系
山金六之系
山金六之系

十回

上院座七之系
いせくすま
ちくさく八
あゆみ之符
指し之出
近き思ふ
油金六之系
山金六之系
山金六之系
山金六之系

合

平



大矢平

文

平

井

指子平

中夜平



山金平

式末平



扇平

古

平



草履平

明治十六年購求

細見書

そ席

麻の向はまゝの草生不枝

自車也人を人よ操く

人へ成世経付は日月の

樂ハ云よ及ちんは々

教も教もふも

ある一箇金ゆゑせんは

越く老がへる高は

率

まゐるも世里^{あそ}あゝい

恙^{さやう}の^か新^{あら}き^もく

侍^{つき}近^き花^えの^ご侍^{ざい}

伎^あ遍^{へん}照^{あき}し世里^{あそ}へ^り落^およ

きし人^{ひと}は^る語^{かた}ねと^が僕^{ぼく}の

多^{おほ}と^あい^あを^あら^ある^あん^あ

伝^{でん}而^に小^{せう}三^{さん}

善^{ぜん}飛^ひ

山陰

八
卷
之
八

卷之五

卷之四
 詩經
 卷之四

۱۰

(Faint handwritten Japanese calligraphy)

尤倒

ねん市を
ねん市を
ねん市を
ねん市を
ねん市を
ねん市を
ねん市を
ねん市を
ねん市を
ねん市を

貳

卷之五

入
初

2. 松の針

五

卷之四

見

卷之五

二
ふひやふふ

金

25
26

今干代さ
今干代さ

五子

22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 533
 534
 535
 536
 537
 538
 539
 540
 541
 542
 5

松華堂

文全中夜
三谷古

程氏

新嘉坡

五

夷

卷之五

卷之五

美

少秋林

芳川

三

門

三ノ

山
先
先

神女

貳

江鴻金齋

八八八八

[Faint handwritten Japanese calligraphy]



古
一
力
字
也
古
字
也

山
原
へ
く
ま
や
こ
ち
の

貳是ヨリ

花村

卷之五

花村吟

今方
免
今方

蘇人定



ちよと
先のち
えち

三
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



あふふふふ

三巴原
 山その
 とちの
 の
 小く
 ん山
 うきう



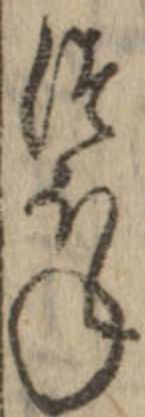
張

秘

[illegible]

一先之先

文
 無
 思
 義
 者
 の
 心
 也
 一
 心
 二
 心
 三
 心
 四
 心
 五
 心
 六
 心
 七
 心
 八
 心
 九
 心
 十
 心
 十一
 心
 十二
 心
 十三
 心
 十四
 心
 十五
 心
 十六
 心
 十七
 心
 十八
 心
 十九
 心
 二十
 心
 二十一
 心
 二十二
 心
 二十三
 心
 二十四
 心
 二十五
 心
 二十六
 心
 二十七
 心
 二十八
 心
 二十九
 心
 三十
 心
 三十一
 心
 三十二
 心
 三十三
 心
 三十四
 心
 三十五
 心
 三十六
 心
 三十七
 心
 三十八
 心
 三十九
 心
 四十
 心
 四十一
 心
 四十二
 心
 四十三
 心
 四十四
 心
 四十五
 心
 四十六
 心
 四十七
 心
 四十八
 心
 四十九
 心
 五十
 心
 五十一
 心
 五十二
 心
 五十三
 心
 五十四
 心
 五十五
 心
 五十六
 心
 五十七
 心
 五十八
 心
 五十九
 心
 六十
 心
 六十一
 心
 六十二
 心
 六十三
 心
 六十四
 心
 六十五
 心
 六十六
 心
 六十七
 心
 六十八
 心
 六十九
 心
 七十
 心
 七十一
 心
 七十二
 心
 七十三
 心
 七十四
 心
 七十五
 心
 七十六
 心
 七十七
 心
 七十八
 心
 七十九
 心
 八十
 心
 八十一
 心
 八十二
 心
 八十三
 心
 八十四
 心
 八十五
 心
 八十六
 心
 八十七
 心
 八十八
 心
 八十九
 心
 九十
 心
 九十一
 心
 九十二
 心
 九十三
 心
 九十四
 心
 九十五
 心
 九十六
 心
 九十七
 心
 九十八
 心
 九十九
 心
 一百
 心



くさき
ふけり
ふけり
おひめ

江戸一丁目中町



父方系

先方系

先方系

先方系

先方系

先方系

先方系

父



大津屋

先方系

先方系

先方系

先方系



山野

先方系

先方系

山の

先方系

先方系

先方系

先方系

先方系

先方系




あけふは
あけふは
あけふは
あけふは
あけふは
あけふは
あけふは
あけふは
あけふは
あけふは

[illegible][illegible]

(Faint handwritten Japanese calligraphy)



小式
 中
 元

[illegible][illegible][illegible]

實

貳山回公長以布

心もふくみ
老れなむ
心もふくみ
老れなむ
心もふくみ
老れなむ

[illegible]



八古てしちかきと和

るあこ

光ハナミ

うんき

光きん

きんきん

光きん

せう山

光きん

光きん

光きん

光きん

光きん

光きん

光きん

か

かきんきん

かきんきん
かきんきん
かきんきん
かきんきん
かきんきん
かきんきん
かきんきん
かきんきん



平野九十九

公仲廣
吏傳以
とみよ

余の今
二先の
三山

中

卷之六

金馬子海
いし
あ



入方
上四座長七寸

五ノイ
一、
二、
三、
四、
五、

其



嘉
卯

支

あふさう

天竺寺

柏

大德

紅樓夢

あふさそこつ



國尾張卷之五

武
 家
 今
 武
 家

知子樓

金
茂村
いふ
あふ



老々々々

松

系

以爲

卷之四

走小舌

へきやうのし

卷之五

三

齊

國密川府志

東にうき
東にうき

文以

心老下
心子下

へんは子
集りきり

卷之六



其の要領を

金部

卷之五

卷之四

孝の
 へふ
 うの

つるり志不
老志何と

文右



古山秋桐金堂

あふ人

山の井 下

貳

足さ 川

念

あふ人



貳 久兵衛 名

あふ人

文

あふ人

あふ人

山

あふ人

あふ人

山

あふ人

あふ人

山



あふ人

あふ人

山

あふ人

あふ人

山

あふ人

あふ人

山



金庫やんき

やんき

金井

金井

金井

金井

金井

金井

金井

金井

金庫

金庫

金井

金井

金井

金井

金井

金井



金庫

金井

金井

金井

金井

金井

金井

金井

金井



御^ミヲ^ノ々^々八^ハ公^{コウ}整^{セイ}々^々の

賞^{シヨウ}

△初^{ハツ}ヒ^ヒ々^々

△今^{イマ}の^ノ系^{ケイ}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△夫^{ソノ}々^々

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△夫^{ソノ}々^々

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△何^{ナニ}々^々

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}



賞^{シヨウ}の^ノ品^{シン}々^々々^々

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}



賞^{シヨウ}の^ノ品^{シン}々^々々^々

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}

△今^{イマ}の^ノ心^{シン}



武
川の國々々々

[illegible]

貳
仁樓也
方家
方

[illegible]



全一 人妻やもあは

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

貳

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



全

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

貳

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

貳

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



文海集巻之六

貳

とこよ

山

山

山

山

山

山

山

山



山

山

山

山

山



山

山

山

山

山

山

山



中夜

貳 一也

山

山の井

夫より

今より

ふは

他

今より

か村

系



貳

小

山

夫より

今より

今より

今より

夫より

今より

今より

今より



貳

平

山

夫より

今より

今より

今より

夫より

今より

今より

今より

夫より

今より

今より

今より

夫より

今より

今より

今より



文 答

沛名や何ん

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文



文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

南所中之町

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

文 文

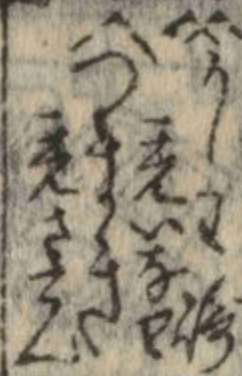
文 文

文 文

文 文

文 文

文 文



卷之五

乙卯松崎
 子之
 子之

かき

加



かうきふ
まゝの
へん

卷之三

今月
今里

今川
今里

卷二

天

三

夫

白

三

乃

卷之五

248

張

10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532

金



水 木 土 金 火

[illegible]

卷之九

[illegible]



 文政
 比がやめし
 二
 女
 中
 政の女
 村
 川
 後の井
 小
 一の女

四ノ



若 佐 政 也 者 之 氣

今 河 原 小 長 子 氏 宗

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日



若

佐 政 也 者 之 氣

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

今 山 口 氏 宗

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

初 年 七 月 八 日

京町を所長中之町に在



文 人 之 浦 田 家

癸 亥 年 尾

光 緒 三 十 年

井 上 氏

主 人 氏

子 孫 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

傳 記

貳

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏

主 人 氏



莫三歲

全山子

天竺山風
光各降
光各降
光各降

まよふけ
 幼むけ
 いづれ
 とよまね
 花あ

璩

善積德久矣

川今缺
世川川

卷之三

是言其

幼子孫

德

懷慶府志

是日

[illegible]

三山

八
五
梅

金
 王
 大
 八
 や

題

山王の
 山王の
 山王の
 山王の

真
今より坊
こゝしのの
丸く新
さよ花
ちや(お)
まん(お)
りふら
るは

あやも
見さん
心まん
りらん
ろ和

京町上町中町下町



蘇白之浦也孫云

か

柳

廿

梅子

之升
 一毛
 之升

三

東山先生

永昌

卷之四

三

五
子
集

三

天

九

卷之六

卷之三

中

元弘のめ

東坡先生

卷之六

免之

七

无

浦

文三浦や源三

三

三

井

三

是

三

三

三

見

三

長崎屋

三

三

三

長崎屋

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

室廻

中
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十



室廻



中
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

室廻
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

漆木

木

木

木

中夜 武 玉 村 八 川

武 是 村 八 川

武 是 村 八 川

山

中夜 武 山 八 川

山

中夜 武 山 八 川

山

中夜 武 山 八 川

山

山

信濃

あまのこ

山

阿

あま

あま



あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま

あま



中夜

市ちう

風

あう

村

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

復

古文

迎

卷之五

白々

[Faint handwritten Japanese calligraphy]

舉

舍同

山本仙居

山乃井 入 玉川
 二 是 乃
 市 乃
 と 代



莫古

己丑年

ウツクハセ
おまつ

[illegible]

京町其丁目中左

宋

其

山城

其

其

其

其

其

其



文

巴

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

長

其

長

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

其

賀賀

中夜

かや

代

其

浦

老

中夜

の

浦

其

の

浦

其

の



其

泰

つ

つ

つ

つ

つ

つ

其

人

太

八

八

八

八

八

村

村

村

村

村

村

村

村

村

村

村

村

村

村

村

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

貳

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

185
7th

富

中國勸業

今更に
人、まゝ居て
一先中ね
今更に

先之
初之
之

辛酉野老集
卷之四
詩
五言古詩
送王仲文

通

三傳考

今又
氏是

今川了俊
今川了俊

金三叔
金三叔

今也
去也
今也
去也
今也
去也
今也
去也

和泉

和泉

玉川如神

入之者
入之者
入之者
入之者
入之者

卷之五

和氣 子之氣

近

近江動

八子

入之乃就

やうと

大要書
山

千の
山

さや
山

あや
山

さや
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

いさ
山

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

あやふちるる
神を
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

つる
つる
つる
つる
つる

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

近江
近江
近江
近江
近江

九文安... 分... 分...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

... 子... 子...

ふかほちつ
まのいりり
タラ

やうやう
ろのろのろ
まのまのま

まのまのま
まのまのま
まのまのま

山男市

まのまのま
まのまのま
まのまのま

三丁目

まのまのま
まのまのま
まのまのま

山男市

まのまのま
まのまのま
まのまのま

さうい所

まのまのま
まのまのま
まのまのま

年中

正月
初年

二月
初年

三月
初年

四月
初年

五月
初年

六月
初年

七月
初年

八月
初年

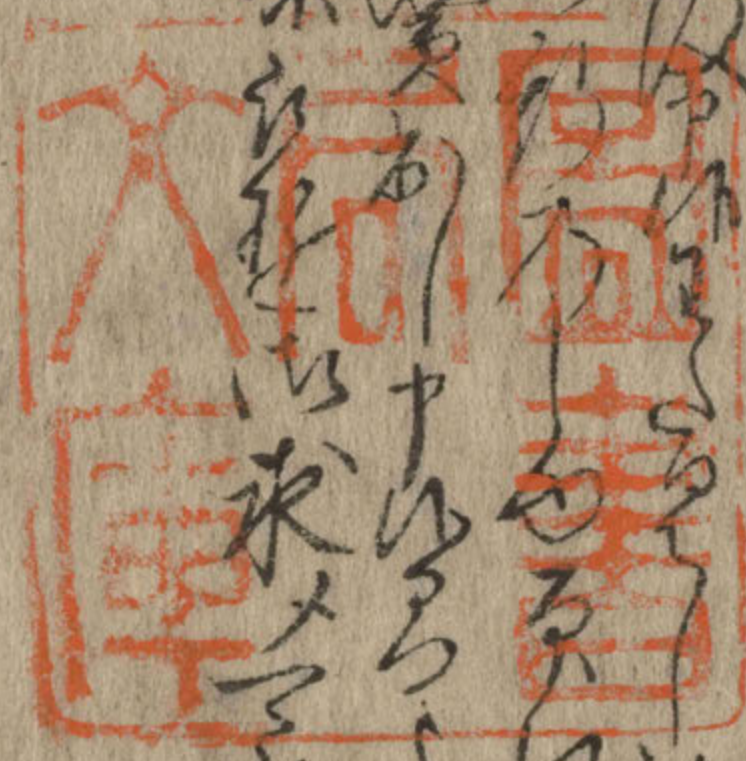
九月
初年

十月
初年

十一月
初年

十二月
初年

一考、この世に小油人の為難有
是太きくも、さうして長くと、縁之和
乃所と、得ん、以所、丁、凡、女、所、更
子、の、が、太、更、花、子、の、身、痛、む、心、を
持、て、さうして、虎、毛、と、こ、う、く、お
取、り、し、て、さうして、油、人、と、い
ふ、人、の、心、を、さうして、さうして、さ
うして、さうして、さうして、さうして、
味、を、さうして、さうして、さうして、
味、を、さうして、さうして、さうして、



元文三年八月改

新刊東京横屋所

一、文、字、も、又、四、郎、板

महाराष्ट्र राज्य

Walter Scott

卷之四



12

110X
668
154
9

5

